

垂れ咲きの優しさと気品



花しょうぶ



セールスポイント

花菖蒲は、昭和44年に「県の花」に指定されています。品種は、2,000種以上あり、改良されてきた地域の名をとって、江戸系、伊勢系、肥後系というように分けられています。

また、明治以降に米国に伝えられ、そこで改良されたものが米国系としてあります。

江戸系は、株姿が整ったすっきりと粋な品種が多く、花菖蒲の中核をなす系統で、歴史的な名品が多く現存します。

伊勢系は、垂れ咲で柔らかな色合いに特徴があり、繊細で女性的なイメージです。

肥後系は、輪が大きく堂々としているのが特徴でボリュームがあり、初心者に人気があります。

地域との関連性

花菖蒲は、江戸時代の中頃より各地の野山に自生する多年草植物のノハナショウブを原種として品種改良が行われ、発達してきた日本が世界に誇る伝統園芸植物です。

津市では、「伊勢花しょうぶ園」が、昭和28年頃から創業者の趣味に始まり、昭和45年から花菖蒲の営利栽培に取り組んでいます。

主な産地

鮮やかな山並みの経ヶ峰を背に四季折々の風情を見せる、美しい田園風景の安濃地域で生産されています。

こだわりの生産者

伊勢花しょうぶ園

安濃地域で、昭和45年から、花しょうぶの営利栽培に取り組んでいます。

[詳しくはここをクリック](#)

おすすめ活用術♪

花しょうぶ

●自宅で楽しむ(ポット・切り花)

ポット(鉢)では、株元が埋まらないよう、3月(葉伸び)には日光と水を十分に、冬は乾燥を防ぐ程度の水をやる。また、花や葉汁を絞り、Tシャツやハンカチなどに染め付けができます。

●三重県内での観賞スポット

津市の花しょうぶは、江戸系・肥後系・伊勢系があり、特に伊勢系は、垂れ咲き、ピンクが多く上品で柔らかな色合いです。なばなの里、亀山公園、桑名市公園、二見花しょうぶ園などで使われています。

